

出雲高校ホームページへ ようこそおいでくださいました。

校長の真玉保浩と申します。どうぞよろしく願ひいたします。

本校は、大正9(1920)年の島根県立今市高等女学校の創設に始まる、歴史と伝統に彩られた県下有数の進学校として多くの人材を輩出してきました。

現在も、儒教の教典「中庸」にある「至誠息むこと無し。息まざれば則ち久し。久しければ則ち微有り」に基づく「久微」精神を大切にしながら、勉学に部活動に生徒会活動に、日々精力的に取り組んでいます。



特に近年は、第2期目の事業指定をいただいたSSH（スーパーサイエンスハイスクール）、5年目を迎えたSGH（スーパーグローバルハイスクール）事業のダブル指定校として探究学習を軸とする先進的な教育プログラムを開発し展開しており、その成果が多方面で着実に表れてきています。進学実績はもちろん、部活動面での一昨年の県高校総体における男子学校対抗の部総合優勝、夏の第98回全国高校野球選手権大会への野球部の創部68年目にしての初出場、弓道部男子団体のインターハイ6位入賞、吹奏楽部・コーラス部の中国大会金賞受賞など、本校には今、勢いを感じられます。とりわけ甲子園という大舞台で出雲高校の野球を貫いた選手の頼もしい姿、一塁側アルプス席の深緋色に染まった出雲高校大応援団を目にした感激は生涯忘れられないものとなりました。皆様方からお寄せいただいた浄財による記念事業の一環としての施設設備の充実を図ることもできました。この感激やご支援いただいた皆さま方への感謝を胸に、時代に即応した本校教育の推進に一層邁進していきたいと思っています。

今年度もこの勢いのある流れに棹さし、本校教育の基盤である「学園の指標」や「久微」精神を尊重し、後掲の学校経営方針に基づき、本校のめざす生徒像である「地域・社会のリーダーとして貢献できる人材」の育成に向けて、「自立・協働・挑戦」をキーワードに前進していきたいと思ひます。

始業式では、サントリーの創業者である鳥井信治郎がたびたび発したという「やってみなはれ」という私の好きな言葉を紹介しました。失敗を恐れず挑戦する姿勢で、生徒・教職員、また保護者・地域の方々と一緒に、2年後に迫った本校創立100周年に向け、平成30年度新たな一步を踏み出して行きたいと思ひています。本校教育の推進に、皆さま方のご理解ご支援をどうぞよろしく願ひいたします。

平成30年4月島根県立出雲高等学校
校長 真玉保浩